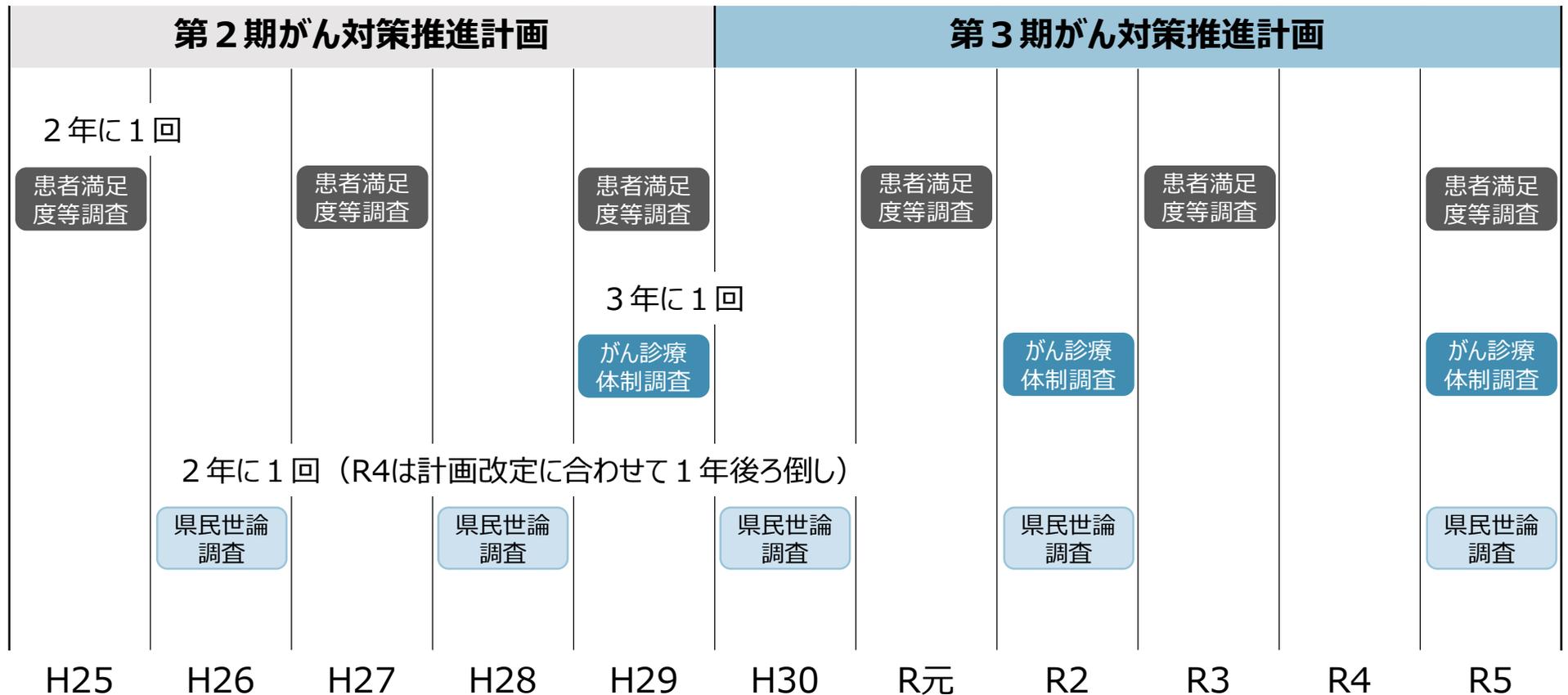


医療機関がん診療体制・患者満足度等 ・県民世論調査の結果概要

医療機関がん診療体制調査の結果概要	1
患者満足度等調査の結果概要	9
県民世論調査の結果概要	18

調査のこれまで

目的：がん対策推進計画の取組評価と次期計画の基礎資料とする



医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕

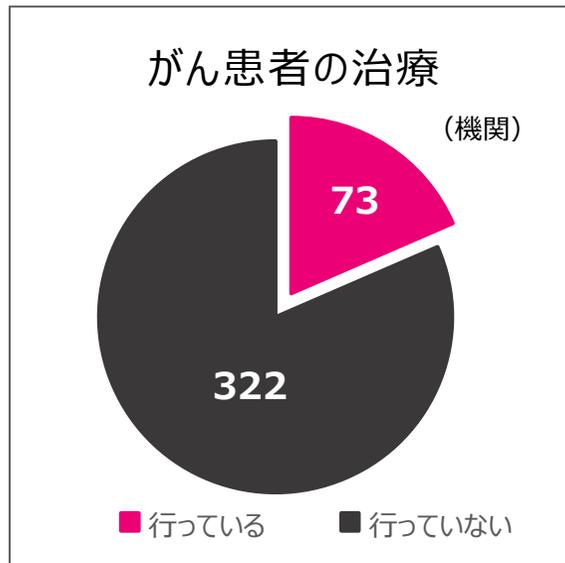
- 調査対象期間
- 対象機関数
- 回答機関数
- 回収率

令和5年5月19日～6月16日

501機関（【R2】536機関、【H29】576機関）

395機関（【R2】400機関、【H29】450機関）

78.8%（【R2】74.6%、【H29】78.1%）



「がん患者の治療を行っている」73機関の内訳

	安芸	中央	高幡	幡多
病院	2	25	5	3
診療所	4	30	2	2
計	6	55	7	5

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 がんの治療の状況

手術療法と薬物療法はすべての二次保健医療圏で提供
放射線療法は中央及び幡多医療圏に限定

保健医療圏		安芸	中央	高幡	幡多	総数	
手術療法	医療機関数	1	24	3	2	30	
	再掲	大腸がん	1	14	2	2	19
		肺がん	0	7	1	0	8
		胃がん	1	14	2	2	19
		乳がん	1	11	1	2	15
		前立腺がん	0	8	0	0	8
		肝がん	0	7	0	1	8
		胆のう・胆管がん	0	10	0	2	12
		膵臓がん	0	7	0	1	8
		外来化学療法	2	24	4	3	33

保健医療圏		安芸	中央	高幡	幡多	総数	
放射線療法	医療機関数	0	5	0	1	6	
	再掲	大腸がん	0	4	0	1	5
		肺がん	0	4	0	1	5
		胃がん	0	3	0	1	4
		乳がん	0	4	0	1	5
		前立腺がん	0	4	0	1	5
		肝がん	0	3	0	1	4
		胆のう・胆管がん	0	3	0	1	4
		膵臓がん	0	3	0	1	4
		免疫療法	医療機関数	2	9	1	0
再掲	大腸がん		2	6	1	0	9
	肺がん		2	8	1	0	11
	胃がん		1	8	1	0	10
	乳がん		1	5	1	0	7
	前立腺がん		1	3	1	0	5
	肝がん		2	7	1	0	10
	胆のう・胆管がん		0	5	0	0	5
	膵臓がん		0	4	0	0	4

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 セカンドオピニオンの提供

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
可能	17	1	13	2	1
不可	37	2	26	5	4
将来考慮	11	1	10	0	0
未記入	8	2	6	0	0
計	73	6	55	7	5

対象疾患

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
大腸がん	15	1	11	2	1
肺がん	10	0	8	1	1
胃がん	15	1	11	2	1
乳がん	13	1	10	1	1
前立腺がん	13	0	10	2	1
肝がん	10	0	8	1	1
胆のう・胆管がん	10	0	8	1	1
膵臓がん	11	0	9	1	1

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 訪問看護の状況

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
行っている	21	2	16	2	1
将来は行う予定	2	0	2	0	0
行っていない	44	3	32	5	4
未記入	6	1	5	0	0
計	73	6	55	7	5

がん患者への訪問看護実績

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
あり	15	1	11	2	1
なし	4	1	3	0	0
未記入	2	0	2	0	0
計	21	2	16	2	1

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 訪問診療の状況

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
行っている	34	3	24	5	2
行っていない	33	2	26	2	3
将来考慮	2	0	2	0	0
未記入	4	1	3	0	0
計	73	6	55	7	5

がん患者への訪問診療実績

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
あり	28	2	19	5	2
なし	6	1	5	0	0
未記入	0	0	0	0	0
計	34	3	24	5	2

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 診療連携の状況

連携を行う他の診療所があれば診療連携を行うか

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
はい	24	3	17	1	3
いいえ	25	1	19	3	2
将来考慮	14	1	10	3	0
未記入	10	1	9	0	0
計	73	6	55	7	5

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 相談支援・情報提供体制

医療連携の窓口はあるか

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
はい	42	2	31	5	4
いいえ	25	2	20	2	1
将来は作る予定	1	0	1	0	0
未記入	5	2	3	0	0
計	73	6	55	7	5

医療相談の窓口はあるか

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
はい	38	2	30	3	3
いいえ	28	2	20	4	2
将来は作る予定	1	0	1	0	0
未記入	6	2	4	0	0
計	73	6	55	7	5

医療機関がん診療体制調査結果の概要

〔調査の概要〕 緩和ケア

がん診療連携協議会緩和ケア部会において
結果を地域連携緩和ケアマップに反映

緩和ケア外来はあるか

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
はい	15	2	11	1	1
いいえ	102	6	75	10	11
将来考慮	3	0	2	0	1
未記入	275	18	212	13	32
計	395	26	300	24	45

院内外で協働し、早い段階から緩和ケアの導入を行っているか

	施設数	安芸	中央	高幡	幡多
はい	32	2	22	3	5
いいえ	58	4	41	6	7
将来考慮	18	1	15	1	1
未記入	287	19	222	14	32
計	395	26	300	24	45

患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕

■ 調査対象期間

令和5年5月15日～6月30日

■ 調査協力医療機関

30機関（【R3】13機関、【R元】17機関）

患者への配布数

1,088（【R3】471、【R元】720）

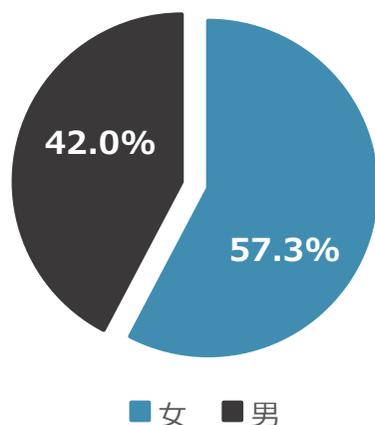
回収数

571（【R3】225、【R元】277）

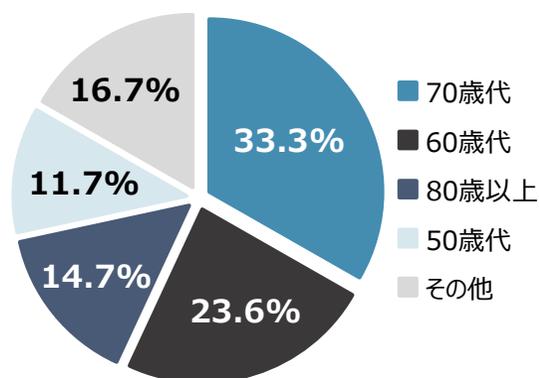
回収率

52.5%（【R3】47.8%、【R元】38.5%）

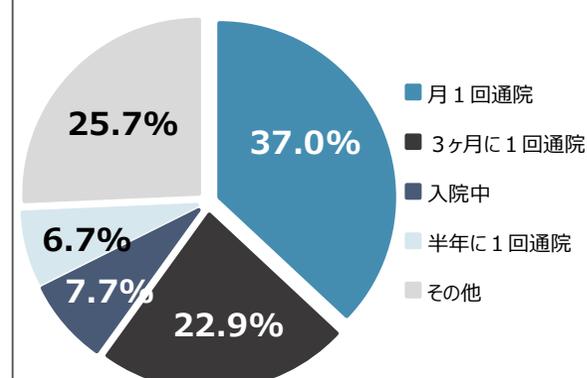
患者の性別



患者の年齢



現在の入院・通院状況

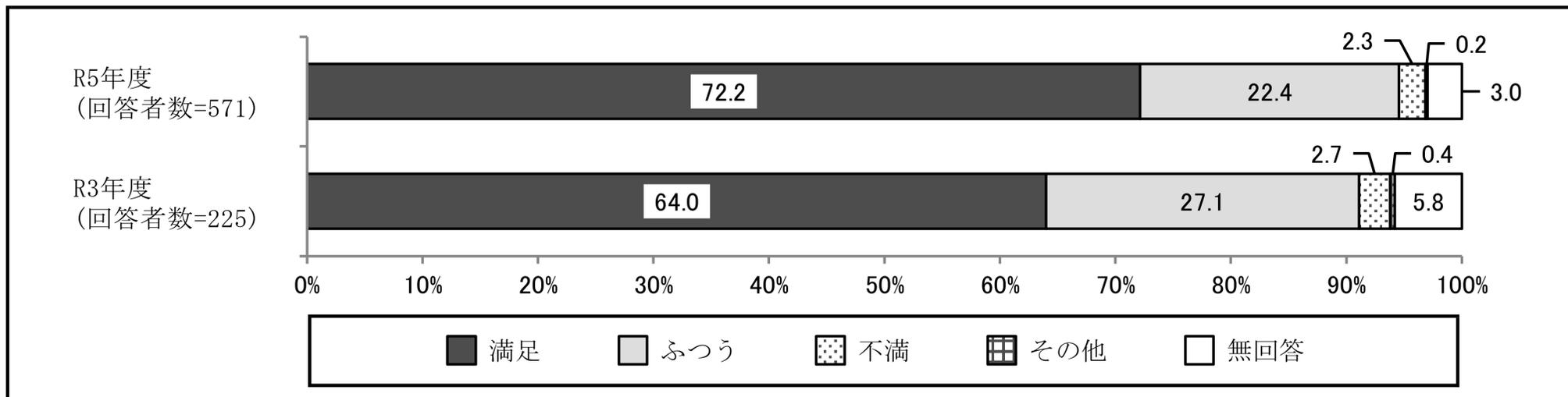


患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 受けた治療内容に対する満足度

受けた治療内容に「満足」とした人は**72.2%**
「不満」とした人は**2.3%**

図8 受けた治療内容に対する満足度の状況（基本集計）

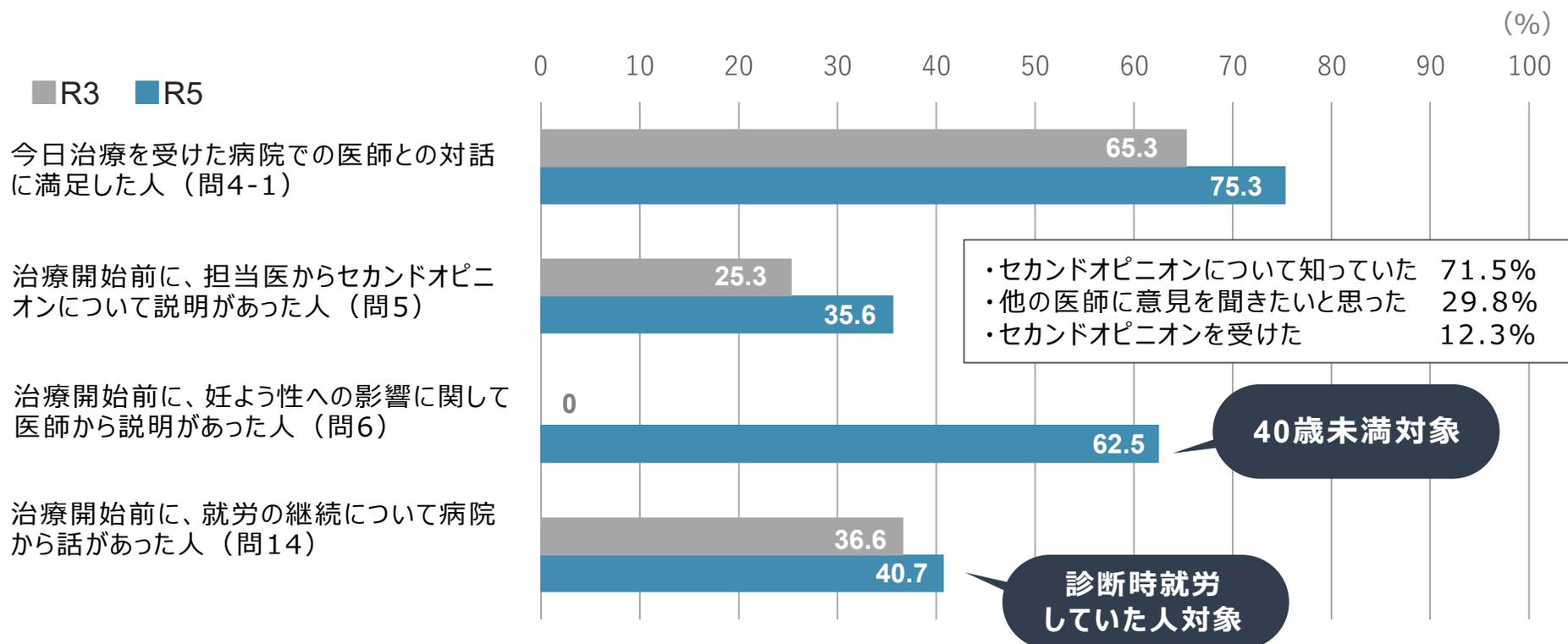


患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 医療側の説明・対応

他の医師に意見を聞きたいと思った人は**29.8%**

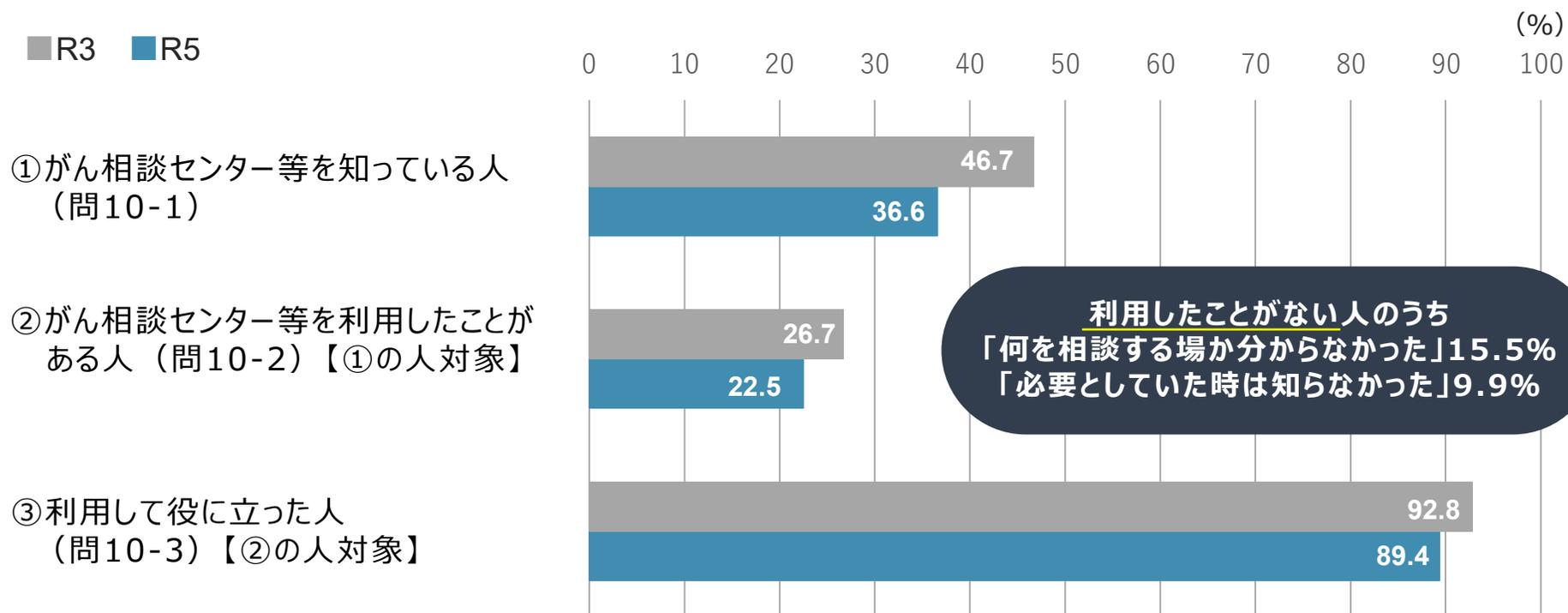
セカンドオピニオンについて説明があった人は**35.6%**



患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 相談窓口（がん相談支援センター等）の認知度

がん相談支援センター等を知っている人は **3** 人に **1** 人
そのうち利用したことがある人は **2** 割



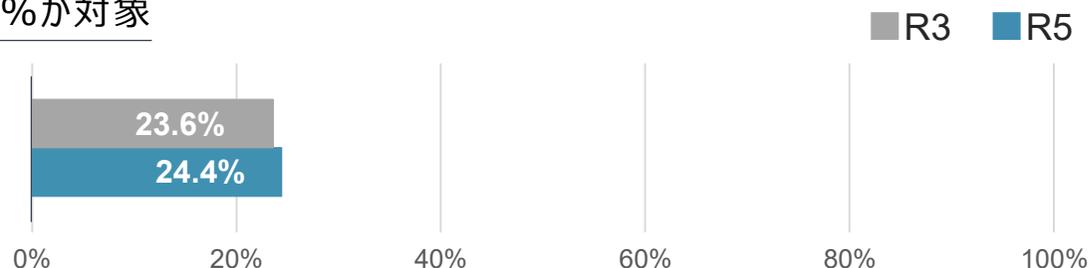
患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 就労の状況

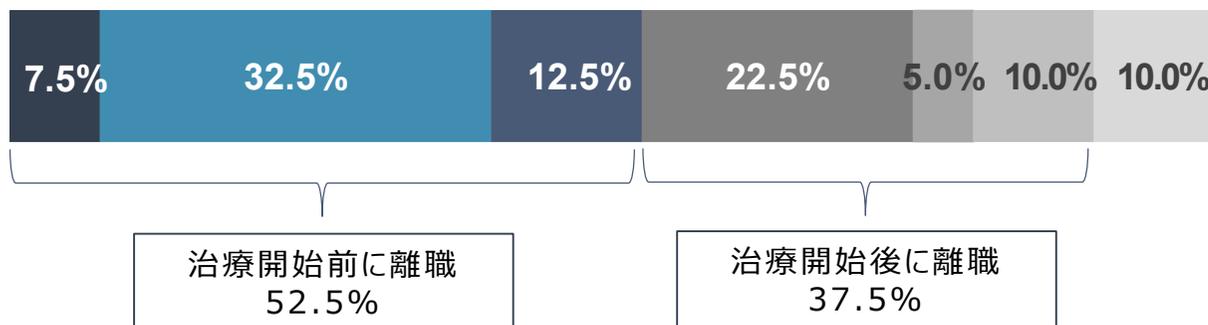
今まで続けてきた仕事を **2** 割がやめている
うち、治療が始まる前にやめる人が **5** 割

診断時に就労していた、回答者の47.3%が対象

がんと診断後、退職又は休職した人
(問12-1)



【退職したタイミング】

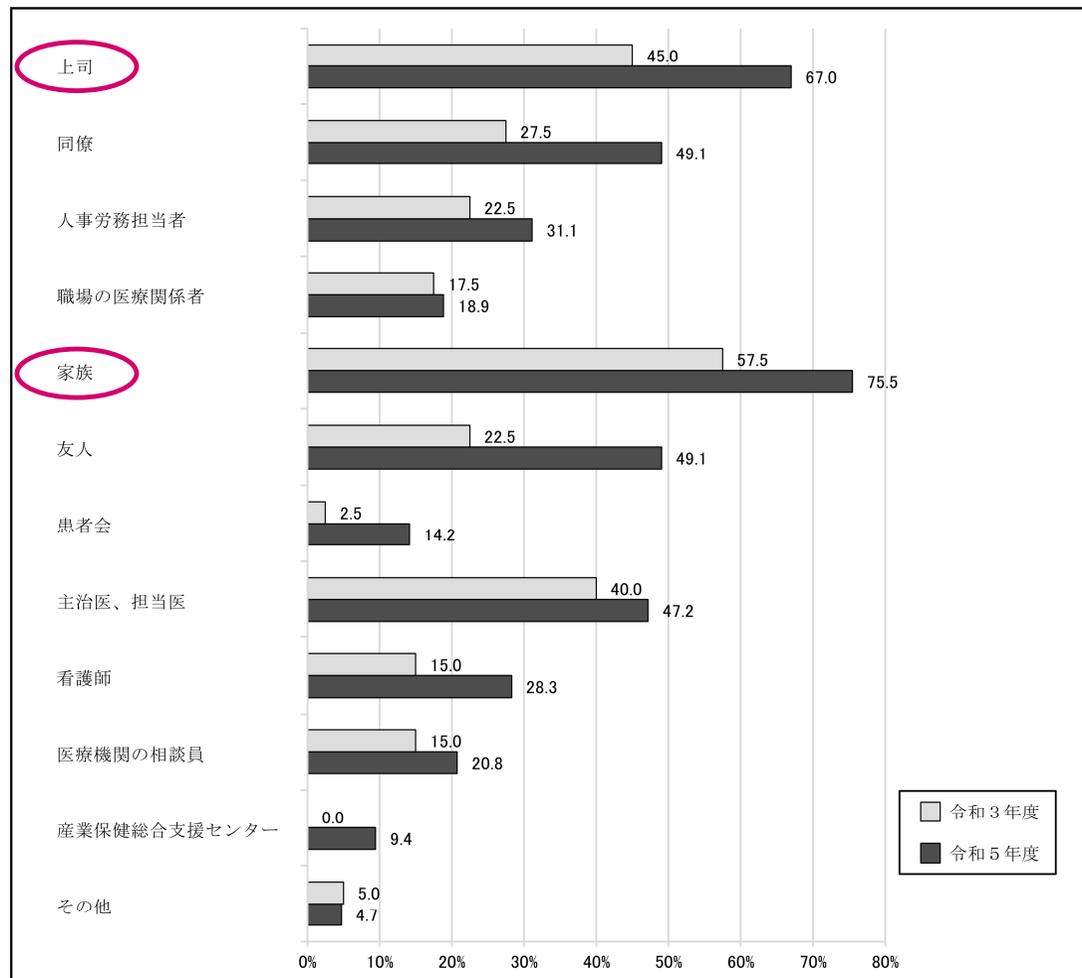


- がんの疑いがあり診断確定前
- 診断直後
- 診断後、初回治療まで
- 初回治療中
- 初回治療から予定していた復職までの間
- 復職後
- その他

患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 就労に関する問題を相談した相手

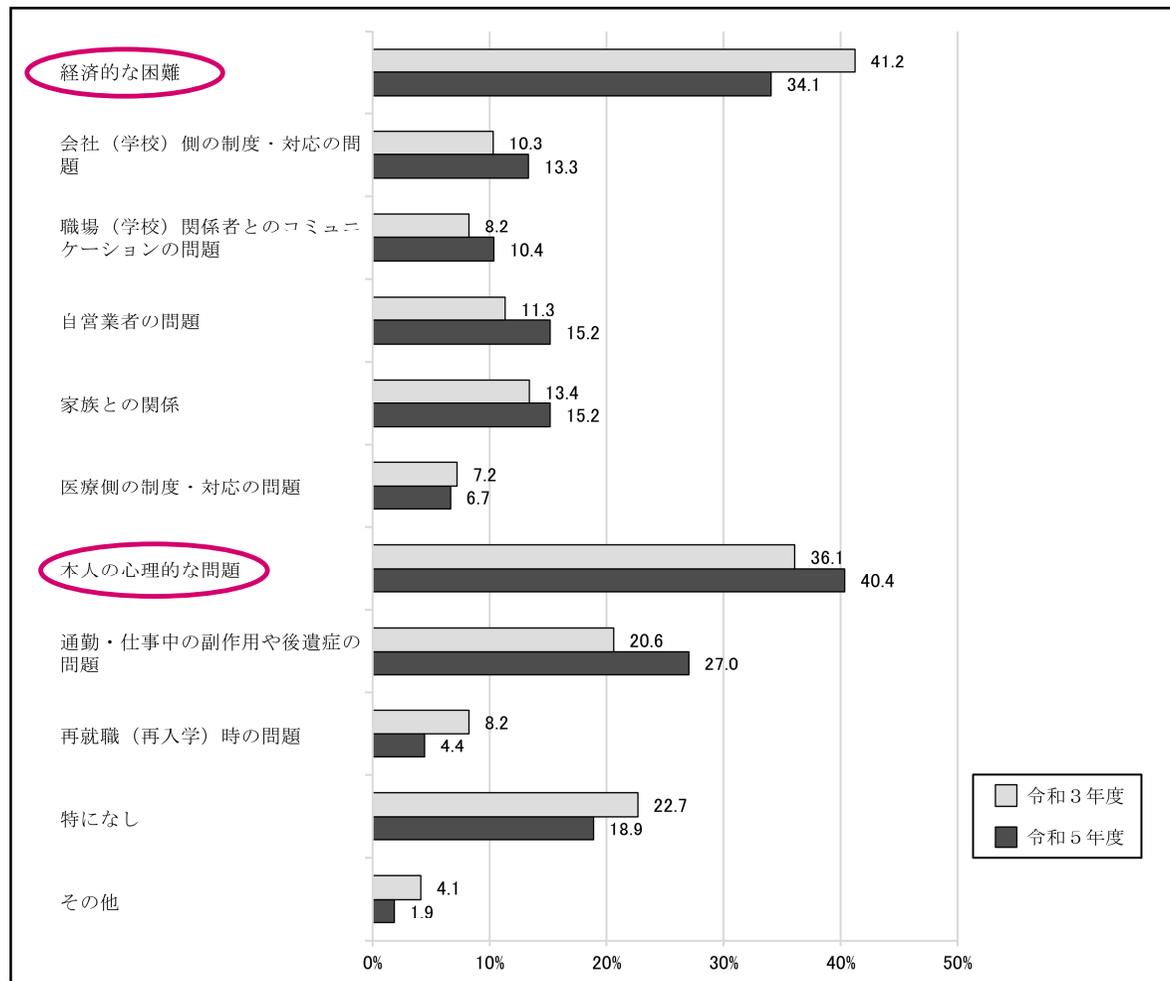
図34 相談した相手（複数回答可）（基本集計）



患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 がんと診断された後、困ったこと

図37 がんと診断された後、困ったこと（複数回答可）（基本集計）

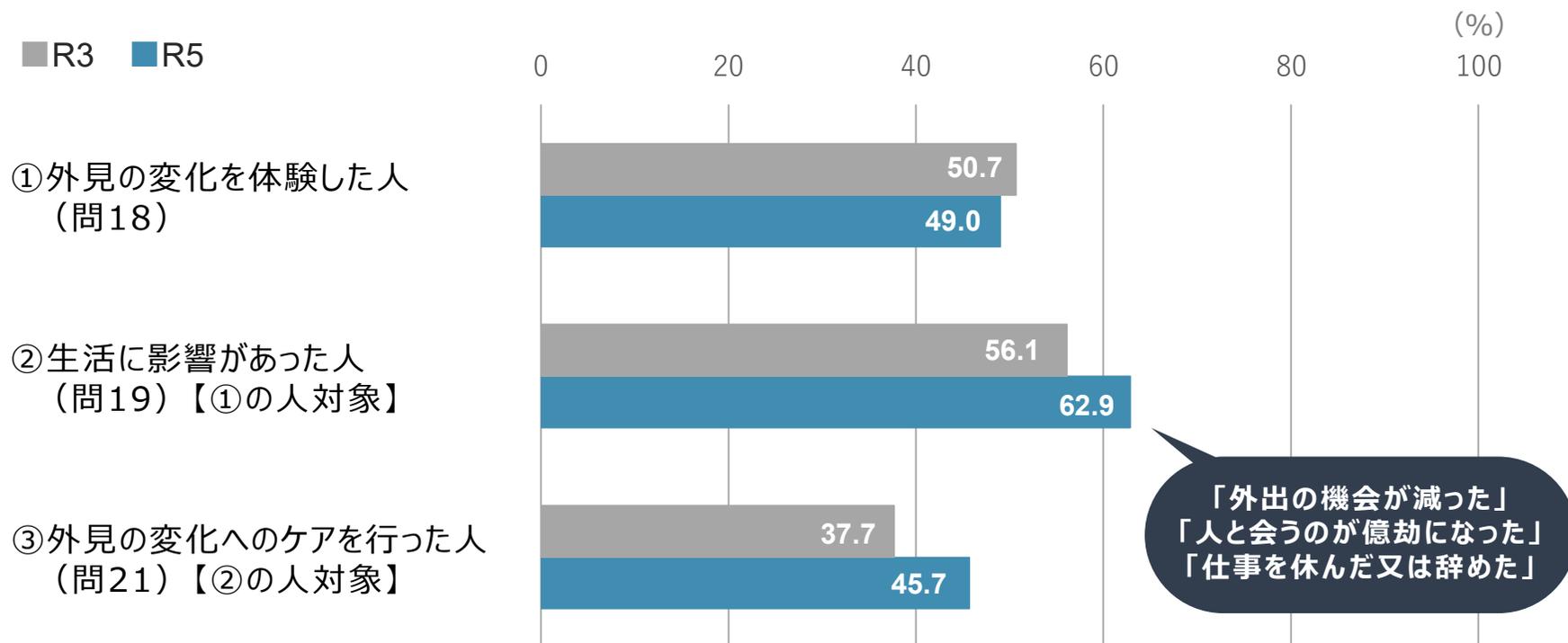


患者満足度等調査結果の概要

〔調査の概要〕 外見変化の状況（アピランスケア）

外見の変化を体験した人は **2** 人に **1** 人

うち **6** 割を超える人が生活するうえで苦痛や困難を感じている



患者満足度等調査結果の概要

〔調査結果を踏まえた今後の方向性〕

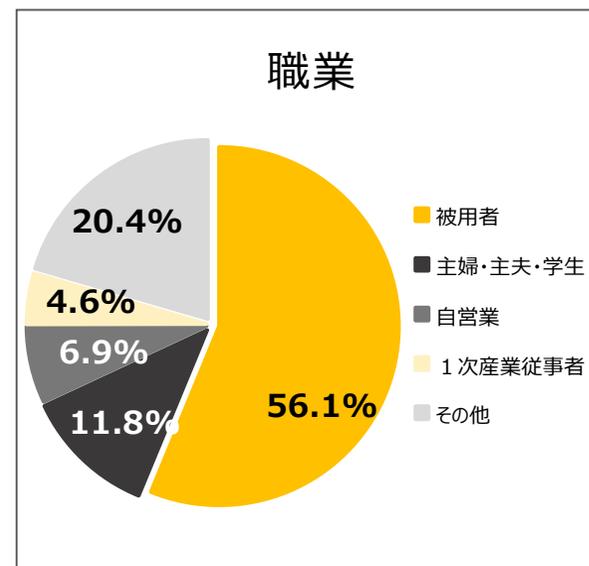
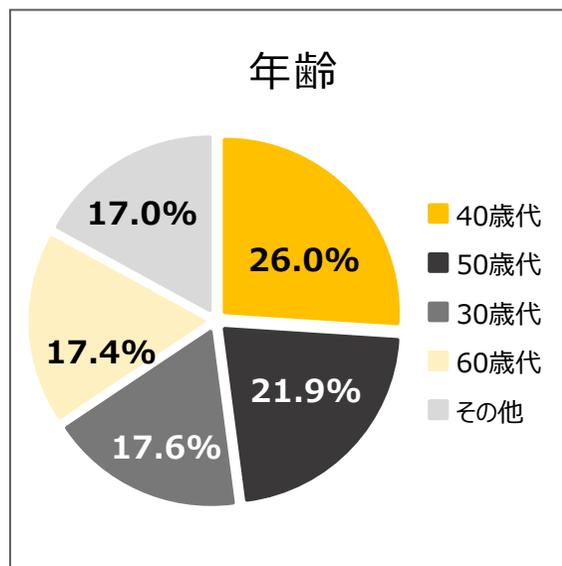
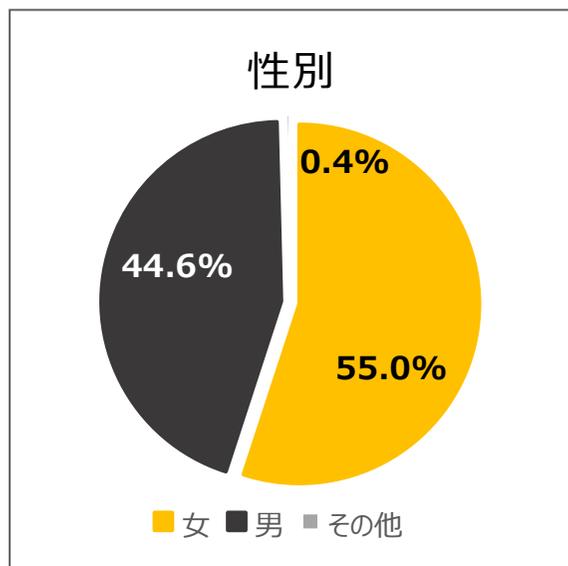
- 調査結果を踏まえて、がんサポートブックの診療の場での活用状況について、緊急アンケートを実施しました。
 - ・施設内での設置のほか、相談窓口や看護師から手渡ししている機関が多い状況です。
 - ・より多くの患者さんにがんの療養情報を周知するため、相談窓口に加えて、医師、看護師等から確実に手渡ししていただくことをご検討いただきたいと考えており、次回サポートブック配布時に文書にてご依頼を予定しています。

高知県県民世論調査結果<速報値>の概要

〔調査の概要〕

- 調査対象期間 令和5年8月4日～8月31日
- 配布数 3,000票
- 有効回収数 1,468票（有効回収率 48.9%）

※3,000人の内訳は市町村の人口比になるようにのみ調整。回答者は選挙人名簿から無作為抽出。



高知県県民世論調査結果＜速報値＞の概要

〔問32〕 あなたが、がんについて知っていることをお答えください。

(当てはまるものすべてに○印)

喫煙ががんのリスクであることの認識が低下
(過去2回の調査では認知している人が7割を超えていた)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	がんは、早期発見・早期治療をすることで90%以上が治ると言われている	1,077	73.4%
2	がんの主な治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法（化学療法含）がある	933	63.6%
3	子宮頸がんのように、若い世代で増えているがんもある	863	58.8%
4	生涯のうち約2人に1人が、がんになる可能性がある	858	58.4%
5	お酒の飲み過ぎは、食道がん・大腸がん・肝臓がんなどのリスクを確実に高める	849	57.8%
6	がんの予防には、たばこを吸わないことが最も効果的である	747	50.9%
	無回答	38	2.6%

高知県県民世論調査結果＜速報値＞の概要

〔問33〕 あなたが、どのがん検診の対象者ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

「どのがん検診の対象者かわからない」
が 1 割程度存在

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	市町村が実施するがん検診の対象者である	735	50.1%
2	職場が実施するがん検診の対象者である	403	27.5%
3	どの対象でもない(19歳以下の女性と39歳以下の男性はこちらに○)	249	17.0%
4	加入している医療保険者が実施するがん検診の対象者である	138	9.4%
5	どのがん検診の対象者かわからない	127	8.7%
	無回答	62	4.2%

高知県県民世論調査結果＜速報値＞の概要

〔問34〕 過去1年間に受診したがん検診の種類をお答えください。

(当てはまるものすべてに○印)

●「いずれも受けていない」

- ・40～69歳では3割程度
- ・職業別では一次産業従事者、主婦・主夫などの国保層で5割を超える

●子宮頸がん検診

- ・36.4% (R2) ⇒48.6% (R5) と大幅に改善

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	いずれも受けていない	573	39.0%
2	肺がん検診 (胸部エックス線検査・C T検査)	518	35.3%
3	胃がん検診 (胃部エックス線検査・胃内視鏡検査)	465	31.7%
4	大腸がん検診 (便潜血検査・大腸内視鏡検査)	461	31.4%
5	子宮頸がん検診 (細胞診検査)	400	27.2%
6	乳がん検診 (マンモグラフィ・乳房超音波検査)	358	24.4%
	無回答	65	4.4%

高知県県民世論調査結果〈速報値〉の概要

〔問34副問1〕 がん検診を受けてない理由を教えてください。

(問34で「1」を選んだ方と、女性で「5・6」いずれか一方又は両方とも選ばなかった方のみ)

「忙しい」が理由の1位

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	忙しくて時間が取れないから	208	25.7%
2	受けるのが面倒だから	186	23.0%
3	必要な時は医療機関を受診するから	176	21.8%
4	がん検診の対象年齢ではないから	99	12.2%
5	検診費用が高いから	79	9.8%
6	医療機関にかかっているから	60	7.4%
7	がん検診の内容がわからないので不安だから	45	5.6%
8	がん検診を受診する方法を知らなかったから	39	4.8%
9	がん検診を受診できることを知らなかったから	23	2.8%
10	近隣に受診可能な医療機関がないから	9	1.1%
11	その他	62	7.7%
	無回答	117	14.5%

高知県県民世論調査結果〈速報値〉の概要

〔問35〕 がん検診の情報提供にどの媒体が効果的と思いますか。

(2つまで○印)

過去上位にいなかったインターネットやSNSが上位になり
上位にあった新聞が5位になっている

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	テレビ	832	56.7%
2	インターネット	421	28.7%
3	広報誌 (県・市町村)	400	27.2%
4	SNS	246	16.8%
5	新聞	203	13.8%
6	広報誌 (医療機関)	125	8.5%
7	リーフレット・チラシ	122	8.3%
8	口コミ	64	4.4%
9	ラジオ	53	3.6%
10	その他	26	1.8%
	無回答	41	2.8%

高知県県民世論調査結果＜速報値＞の概要

〔調査結果を踏まえた今後の方向性〕

- 国保層は半数以上がいずれのがん検診も受けていない状況
⇒ 市町村と連携した受診勧奨策の強化を行う
- 忙しい働きざかりを1人でも多く検診受診に繋げる必要
⇒ WEB予約の推進など利便性向上の取組を進める
事業所のがん検診実施状況や未実施理由の把握を行う
- インターネットでの情報入手が進んできている
一方、壮年期以上の国保層には県・市町村広報誌も有効
⇒ ターゲットに合った媒体で広報を実施